

◆対策は万全？ 倒産をも招く台風のリスク◆

さて、あなたの会社では台風への対策を行なっていますか？

◆ ----- ◆
「もしも」への備えが会社を救う！
台風の被害を最小限に抑える手段とは
◆ ----- ◆

近年、大型台風の頻繁な発生に伴い、豪雨や突風、洪水などで被災する企業が少なくありません。

被災内容としては、

- ・社内が浸水してパソコンなど電子機器が使えなくなった
- ・物が飛んできて窓ガラスが割れた
- ・屋外の倉庫が破損してしまった などが挙げられます。



このような被害を受けるといつも通りの業務は不可能です。

まずは、職場の復旧活動に時間を割くこととなります。

パソコンの買い替えや社屋の修理など想定外の出費は、中小企業にとっては大きな痛手です。

もし、会社が加入している保険に【水災補償】がついていない場合は、

台風による豪雨の被害で発生する修繕費用が自社負担となってしまいます。

そうなった場合、台風をきっかけに倒産に追い込まれてしまう可能性もゼロとは言い切れないでしょう。

私たちは、いつどこで被災するかわかりません。

「絶対に安全な地域はない」ことを自覚し下記のような台風対策を実施している企業があるようです。

- 加入している保険が水災、風災に対応しているか定期的に確認する
- 重要な機器や書類は可能な限り、高い場所に置く
- 浸水が予想される場所には土のうを設置しておく など

被災してしまうと、自社が深刻な事態に陥るのはもちろん、取引先にも影響が出てしまいます。

「もしも」の時に備えて、まずは会社が加入している保険の見直しから、始めてみてはいかがでしょうか。

□ ■ □ -----
編集後記
----- □ ■ □

今回は「台風のリスク」をテーマにお伝えしました。

近年は、台風の大型化のほか猛暑やゲリラ豪雨など、異常気象が毎年のように発生しています。

記事を書きながら、当社も加入している保険の内容を見直してみようと思いました。

最後までお読みいただきましてありがとうございます。

ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

それでは、今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

